

頑張った後はおいしい

浦和高等学園

5月12日(木)、浦和高等学園の皆さんが三ツ又沼ビオトープに訪れて、あらかわ市民環境サポーターの指導を受けながら外来植物の抜き取りや竹林の拡大を抑えるための若竹伐りなどを行いました。

活動の後は、ビオトープ内の木陰でお弁当。頑張った後のお弁当はとてもおいしいと感動していました。



汗をかきながら楽しんだ

高校生環境学習講座

6月18日(土)、埼玉県立総合教育センター主催の高校生環境学習講座において、21名の県立高校の生徒の皆さんが、三ツ又沼ビオトープを訪れました。暑い日でしたが、「自然の中で汗をかくのは大好き」と、熱心にオオブタクサの抜き取りと、マグワ伐りに取り組みました。小さなへび「ヒバカリ」が大人気でした。



今年度初めての三ツ又沼ビオトープ

埼玉県立いずみ高等学校

6月1日(水)、埼玉県立いずみ高等学校生物サイエンス科2年生が、初めて三ツ又沼ビオトープに訪れました。三ツ又沼ビオトープを散策した後、2班に分かれて、外来イネ科植物の刈り取りと、湿地環境を守るためのマグワ伐りを行いました。伐ったマグワの一部は、三ツ又沼ビオトープの昆虫の住む場所とするために積み上げました。



多くの人に知ってもらうために

上尾市環境推進大会へ出展

地域の皆さんにもっと三ツ又沼ビオトープのことを知ってもらうため、6月4日(土)に上尾市主催「環境推進大会」に出展しました。大きなポスターを作成して、三ツ又沼ビオトープの場所や、自然や生きもの、連携による保全管理活動について紹介しました。立体視の体験コーナーでは、三ツ又沼ビオトープの航空写真を、皆さん興味津々にのぞき込んでいました。



荒川ハンノキプロジェクト & 荒川の草花を育てようプロジェクト

荒川ハンノキプロジェクトは、埼玉県の蝶「ミドリシジミ」のために、三ツ又沼ビオトープにハンノキの林を取りもどすプロジェクトです。荒川の草花を育てようプロジェクトは、外来植物*が増えるのをおさえるために、三ツ又沼ビオトープ周辺にもともと生えていた野草を増やす取り組みです。サポーター事務局では、この取り組みに参加する企業・団体・学校を募集しています。

*外来植物：人によって地域の外から持ち込まれた植物

上尾市立太平中学校

今年の活動をみんなで話し合い

6月17日(金)、学校で昨年度の活動の振り返りと、今年度行いたい活動内容を話し合うワークショップを行いました。ワークショップでは、「ハンノキプロジェクトに参加している市内の小学校と交流したい」という意見や、新入部員からは「先輩が大変だったという夏の外来植物の抜き取りを体験してみたい」という意見が出て、先輩が目丸くする場面も見られました。

自然観察と保全管理体験

7月29日(金)、新入部員にとっては初めての三ツ又沼ビオトープ。待ちに待った外来植物の抜き取りを

行いました。保全管理活動では、背が高くなりつつある外来植物のオオブタクサの抜き取りや、伐採したマグワの枝切りなどを行いました。生徒からは、「続けているうちに慣れて楽しくなった」などの意見が出ました。



川島町立出丸小学校

ハンゲショウが美しい夏の三ツ又沼ビオトープを観察

7月4日(月)、川島町立出丸小学校の5年生と6年生の皆さんが三ツ又沼ビオトープを訪れました。6年生は、昨年度植え戻したチカラシバとキンミズヒキの生育の様子を観察した後、キンミズヒキの周りに生えた外来植物を抜き取りました。

今年初めてハンノキプロジェクトに関わる5年生は、木道を歩きながら三ツ又沼ビオトープの夏の自然を観察しました。この時期葉を白くする一面のハンゲショウや、黄色と黒のしま模様が目立つコガネグモに興味津々の様子でした。



【三ツ又沼ビオトープ】

上尾市と川越市、川島町のさかい目にある、荒川の豊かな自然が守られている場所です。いつでも、だれでも自然に親しむことができます。

【環境サポーター大募集!】

自然を守る作業や自然学習の指導をする「あらかわ市民環境サポーター」を募集しています(荒川上流河川事務所内のサポーター事務局にて登録)。

地域の自然を守るためには、地域の方の力が欠かせません。自然が好きの方、荒川が好きの方、体を動かしたい方、いろいろな人と交流したい方、ご連絡をお待ちしています!